

## 総合計画審議会委員の意見反映状況

各委員からのご意見のうち、基本構想案の段階で反映したご意見については、以下のとおりです。具体的な取組については、今後、基本計画に記載します。

### ●第1回審議会における意見と構想案への反映

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 風見会長    | <p>○当たり前のようにみんなが優しいことが基準となるまちづくりを進める必要がある。優しいまち、愛を感じるまちにしていかなければ生き残れない。</p> <p>⇒P4 基本目標4の文章に反映</p> <p>○今は行政とともに協働、共創していく時代、パートナーシップの時代が来ており、行政や企業、市民、色々な役割があるが、立場を超えて一緒に手をつないでいくということがパートナーシップである。</p> <p>⇒P6 基本目標7の見出し及び文章に反映</p>                                                                                                                                 |
| 高橋(智)委員 | <p>○子ども達を見ていると、経済的にも安定しており、地域の方々も教育に対して非常に熱心であり、学力も高いが、そうなると高校、大学、その後は富谷市から出ていく可能性が非常に高くなる。子ども達がここで更に能力を発揮し続けるようにすることが、富谷市にとってもとても大事なことになると思う。</p> <p>⇒P3 基本目標1の文章に反映</p> <p>○実績のデータを見た時に、開発をする、あるいは起業するといった項目が未達成であり、それを考えた時に、子ども達がここで起業をして力を振るって、世界に発信していくということも、IT 関係等で可能性が高くなっていると思うので、学校としても教育の関係者として考え方を広げていく必要があると、改めて感じたところである。</p> <p>⇒P4 基本目標3の文章に反映</p> |
| 菅原委員    | <p>○富谷市には、すごく経済的に恵まれた環境にある方々の他に、経済的に恵まれていない方々、障がいをお持ちの方々、親類縁者が傍におらず孤立されていて行政や地域包括支援センターの方に見守られて暮らしている方々などが多くいらっしゃることも事実だと思う。そのような方たちにも、住みたくなるまちであると思ってもらい、希望をもって普通の暮らしの幸せを感じてもらえるようなまちになってほしい。</p> <p>⇒P4 基本目標4の見出し及び文章に反映</p>                                                                                                                                     |
| 村上委員    | <p>○私は、自然環境を維持し、市民の皆さんにも実感として感じてもらえるような場を作っていく活動を行っているが、住み続けたくなるまちとして、子どもから年齢層が高くなっても親しめる自然環境は富谷市にとっても大事だと考える。</p> <p>⇒P5 基本目標6の文章に反映</p>                                                                                                                                                                                                                          |
| 小松委員    | <p>○今、田んぼが荒れていたり、高齢化が進んで農業がやりづらくなってきているが、一方で、富谷市で農業をやってみたい、米や野菜を作りたい、果樹を作りたいという人から何人か連絡が来たりする。1農業人としては、住みたくなるまち日本一というよりも、「何か作りたくなるまち」に変えていければと考えている。</p> <p>⇒P3 基本目標1の文章に反映</p>                                                                                                                                                                                    |

|      |                                                                                                                                                                                                   |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 増田委員 | <p>○富谷市は本当に市民力が高いまちだと思うが、そこに更に大人の愛であるとか、元気に生き生きここで暮らしている姿が理屈抜きに子ども達や若者達に伝わっていき富谷市に住みたいと思う、あるいは富谷市に引っ越して来た方に、これまでよりも何か楽しく感じてしまう空気感が伝わっていくと更に富谷に人が集まってくるのではないかと考えている。</p> <p>⇒P2 基本理念の文章に反映</p>     |
| 新藤委員 | <p>○私はプロの川柳作家であり、富谷市の小学校、中学校でも十数年、川柳を教えている。その他、富谷市社会福祉協議会では人生経験豊かな大人の生徒に対して毎月の教室で教えている。そういうものでお互いの交流を図ることが、これからは大事だと思う。特に小学生、中学生はとても敏感なので、お互いの交流が図れる場を我々が作っていかないといけない。</p> <p>⇒P4 基本目標4の文章に反映</p> |

## ●第2回審議会における意見と構想案への反映

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 風見会長    | <p>○富谷市の一番素晴らしいところは、自然と共存しながら町が成り立っているところである。先日も大亀山森林公園の展望台に登り、本当に素晴らしい景色であったが、多くの市民にとって富谷市の美しい自然を存分に味わえる環境にはなっていないと思う。森林再生も然りであるが、一丸となってしっかりと取り組む必要がある。</p> <p>⇒P2 まちづくりの柱、P3 基本目標2及び P5 基本目標6の文章に反映</p>                                                                                       |
| 佐々木委員   | <p>○皆さんの想いというものがものすごく良いので、場合によってはその想いやアイデアをそのまま写真やイラストとして総合計画に入れてしまうと、何かしら今のご意見を直接的に活かすようなことがあっても面白いのではないかと考えた。例えば、委員の似顔絵を描いて、ご意見をそのまま計画に載せるような形でインパクトがあるほうが良いのではないかと。とにかく皆さんのパワーがどう伝わるかということが今回の総合計画の最大のポイントではないか考える。</p> <p>⇒「富谷市の現状と市民ニーズ・課題」P35 (4)審議会委員の意見に「各委員のご意見・アイデア」をそのまま掲載する形で反映</p> |
| 高橋(和)委員 | <p>○企業誘致だけでなく、その企業で働くために富谷市に来た人に定着して住んでもらえるようなまちづくりが、これからも人口を増やしていくためには大事である。</p> <p>⇒P3 基本目標1の文章に反映</p> <p>○住んでいく中ではどうしても高齢化が進んでいくので、医療や保健の充実を図ることが大事である。安心して子どもを育てられる環境を整え、女性も働きながら子どもを育てられるといったことも考えていく必要がある。</p> <p>⇒P4 基本目標3及び基本目標4の文章に反映</p>                                              |
| 阿部委員    | <p>○「子どもにやさしいまちづくり」も大事だが、「高齢者にもやさしいまちづくり」で人と人をつなぐようなまちづくりを行うことが、本当の意味で「オールとみや」ではないかと考える。</p> <p>⇒P4 基本目標4の文章に反映</p>                                                                                                                                                                             |
| 大川原委員   | <p>○先日、富谷中学校の西成田教室から工場見学の依頼があり引き受けたが、皆さん非常に喜んでおられた。地元企業を知ってもらう機会を増やし、少しでも子ども達の教育というところに携われるのであればありがたい。</p> <p>⇒P4 基本目標3の文章に反映</p>                                                                                                                                                               |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 石井委員 | <p>○これまでの 4 つの基本方針が、第 2 次では 7 つの基本目標に変わっている。劇的に変える必要はないが、市民が見て少し違うとを感じる部分があったほうが伸びしろがあるという話にも繋がるかと思う。総合計画は今後 10 年間の目標の根底になるものであり、基本目標については市長の思いを思い切って具現化するような形で「尖がらせた」方が良いと思う。</p> <p>⇒「富谷市の現状と市民ニーズ・課題」P3～4 に富谷市の大事にしていることを記載。</p> <p>⇒P2 基本理念に反映</p>                                                                                         |
| 菅原委員 | <p>○富谷市の一番の優位点は「市民力の高さ」だと考えるが、目の前に現れているものは一部で、まだまだ沢山の方々の市民力の高さが隠されているのではないかと。一人ひとりの力を表面化させていくことができれば、もっともっと「オールとみや」のまちづくりが可能になってくるのではないかと。</p> <p>⇒P2 基本理念の文章に反映</p> <p>○基本目標 4 の「誰もが健康で生き生きと暮らせるまち」について。確かに「健康」というキーワードは誰にでもあてはまり素晴らしいものではあるが、中には体調不良や障がいを抱えて思うように心身の活動ができない方がおり、「健康」ではない別な言い方といった配慮が必要ではないか。</p> <p>⇒P4 基本目標4の見出し及び文章に反映</p> |
| 富田委員 | <p>○土地の利用は個人の問題ではなく、自治体なり国なりで考える問題であり、。今の自然を守る、農地を守るという視点でもう少し考えていっても良いのではないかと感じている。</p> <p>⇒P3 基本目標2の文章に反映</p>                                                                                                                                                                                                                                |
| 村上委員 | <p>○富谷市には里山が残っており、それが富谷市の魅力でもある。里山づくりを行って来て、最終的に今年度から大亀山森林公園の活性化に取り組んでいるが、富谷市のシンボルとしてもっと沢山の人に来てもらいたいと思っている。やはり市民の人達が憩えるような場所を作っていかなければ住んで良かった、住み続けたいということには繋がらないのではと思う。</p> <p>⇒P3 基本目標1の文章に反映</p>                                                                                                                                             |
| 小松委員 | <p>○私達も含めて農家が高齢化し、70 代、80 代の方が多くなっているが、後継者がいない人がほとんどである。農地を守るためにも色々な意味で若い人の力が必要なので、富谷市にはこういった支援があると分かるものを作ってほしい。</p> <p>⇒P3 基本目標1の文章に反映</p>                                                                                                                                                                                                    |
| 増田委員 | <p>○基本目標 3 に学校教育と書いてあるが、こういった教育を子ども達に施すかということと同じくらい大事なのが、先生達が本当に先生になって良かったと思って働いているのかということである。そのためには、保護者の方の理解や市民や地域の方の協力がどうしても必要になる。そうした視点も入れていかないと学校は幸せな現場にはならないと考える。</p> <p>⇒P4 基本目標3の文章に反映</p>                                                                                                                                              |
| 新藤委員 | <p>○市長が掲げる「オールとみや」の考えを大事にしていくためには、やはり町内会の役割は非常に大事だということである。町内会がなぜ必要なのかをもっと見える形で訴えていく機会がほしい。</p> <p>⇒P6 基本目標7の文章に反映</p>                                                                                                                                                                                                                         |